

平成24年度 1年間ありがとうございました!

例会だより（お別れ例会）



大自青季報

春
第20号



大阪自動車青年会議所
<http://daijisei.com/>

平成25年4月1日発行

三月九～一〇日に平成24年度お別れ例会を開催しました。

年に一度、この時期に卒業者の送り出しと会長への慰労の意味を込めて行われ、OB会員さんに多数ご参加いただき総勢23名でのバス旅行となりました。

朝、大阪を出発し、伊勢湾の河口を屋形船でクルージングしながらの風流な昼食、興味津々の近未来的の乗り物リニアモーターカーの現物展示施設で見学し、夜は西浦温泉で追い出し宴會。

真剣な議論あり、ホロツ

とくる場面もありの宴は、深夜まで続き、メンバー一同懇親を深めることができました。

明けて翌日、朝食後にトヨタ博物館を見学、日本を牽引する世界一の自動車メーカーの歴史に触れる事ができました。昼食に名古屋名物のひつまぶしに舌鼓を打ち、帰阪の路に着きました。

平成24年度 5月度例会のお知らせ

テーマ：後継者の心得と勘どころ

日時：平成25年5月9日（木） 18:30～

会場：たかつガーデン 大阪市天王寺区高津町7-11

講師：小笠原 士郎 氏（株）御堂筋税理士法人 代表社員

☆経営者の役割は、成果をあげるべく「経営」をすることであり、経営のスキルを学び本来の経営者の業務に勉めることである。

☆2代目には固有の課題があり、その対処法を知り、課題へチャレンジしてほしい。

経営とは人・もの・金を経営プロセスに投入し、顧客価値を創造して、組織と従業員を豊かにし永続するシステムであり、そのためのコンダクターが経営者です。

組織永続のための条件は、共通目的の設定と社員とのコミュニケーションです。小さな企業では、特に戦略をたてること、経営者が経営に専念すること、経営情報を収集するしくみを作ることが特に重要です。そのため勉強と実践をしていくことが必要です。

この例会では、そうした心がまえと勘どころをわかりやすく、歯切れよくお話しいただけます。是非ご参加ください。

詳しくは大阪自動車青年会議所事務局 宮城(TEL:06-6613-1191)まで

例会だより (新年例会、2月度例会)



当にありがとうございました。

ご参加頂いたOB・永久会員の皆様、本

OB会員、永久会員、現役メンバー参集し、金岩会長の新年の挨拶の後、例会がスタートしました。

料理は、ヘルシーな鴨鍋で、先輩方と現役メンバーが、鍋を突きながら、お酒を酌み交わし、今年も厳しい現状をどう生き残るかを熱く語り合、先輩方のアドバイスを頂きながら深い交流が持て、新年らしい楽しく盛り上がった例会となりました。

新年が明けまして一月十一日(金)、大阪市中央区のうどんすきの今井にて新年例会を開催致しました。

二月度例会が二月七日に大阪市天王寺区のたかつガーデンで開催されました。

「インフォメーション・テクノロジー活用法」～新たなビジネスチャンスの開拓～をテーマにIT戦略委員会

が一年間、委員会活動で学んだことを発表致しました。

発表の内容として、まず始めにITに頼ることなく、独自の「お客様満足度を高めるCS活動」を積極的に実施し、登録済未使用の軽自動車販売に特化され「メントナンスパック」をご購入いただくことでユーザーの問い合わせを展開されておられる販売店の手法などが発表されました。

次に、「みんから」を整備工場が活用する方法、facebookを活用して

顧客とのパイプを繋ぐ工夫などが発表されました。

また、skypeに

よるWeb会議の実演がなされ、日に日に通信が進んでいることを感じさせられました。

委員長を筆頭に委員会メンバー様、大変勉強になりました。一年間お疲れ様でした。



特別寄稿 その1

「ありがとう 大自青」～卒業を迎えて～



平成8年入会 北川雅信

山本〇Bにバッチを付けていただき十有余年、30歳代前半だった世間知らずの私も今年で46歳、卒業年度と思うと感慨深いものがあります。

色々な事がありすぎ、何から書けば判りませんが、初めて参加した総務委員会で給食の弁当が出てきて、面食らったあの時。初めて委員長をさせて頂いた、輸入部品販売促進委員会。1年間何を勉強して良いのか判らず悩んだあの日。

お別れ例会、ホテルセイリュウでの懇親会時、泥酔し暴れた某先輩〇Bを担いだあの時。

矢野〇Bが会長時に副会長を仰せつかり、大阪南港にて自動車点検フェスティバルの陣頭を取らせて頂いた時、二人して成功に涙したあの瞬間。

10年前の大自青30周年時会長を仰せつかり、周年行事の打ち合わせ等々で、家族との食事の回数より数多く食事をした糀谷〇Bとの多忙な一年などが想い出されます。

何の経験のない私が色々な経験をさせて頂き、色々な人と出会い、色々な事を学ばせて頂いた大自青は、自然に無くてはならない場所となりました。

支え支えられ成長し、会長までさせて頂いた事に大変感謝致しております。会長という経験の中では、会を引っ張っているようで、本当は仲間に引っ張ってもらっているという事を学ばせて頂き、振り返ると自分の会社でも同じ事で、自分が支えているようで、本当はスタッフに支えられている、そんな気がします。

今後の大自青は、メンバー減少による会の存続の危機が5年後には向かえ、本当に苦難な時を迎えようとしています。どう現状を打破するのか。目先に囚われず、大きな視野を持ち、新しい血を注ぎ込む事によって枠を超えた新しい会になっていくのではないかと思います。

大自青も会社も後継というのは本当に難しい問題です。単に前任と同じ事をしていく意味が無い。まずは現状を把握し、壊し消し去るもの、守っていくもの、新たに取り入れるもの等を選択していくことが本当の継承と言う意味かもしれません。

最後になりますが、長い間本当に有難うございました。これからも〇Bとして又宜しくお願ひします。
この私のつたない文章を読んでいる自動車業界に携わっている貴方、是非大自青に入会してください！

大募集！！ 平成25年度新入会員

大阪自動車青年会議所では我々と一緒に活動していただける新入会員を募集しております。

大阪府下で自動車整備を営んでいる方で、45才までの経営者もしくは経営幹部の方なら入会可能です。毎月1回例会を開催し、会社経営に関する事、整備技術に関する事、自己のスキルアップにつながることなど、同世代の仲間が集まって切磋琢磨しています。

あなたも是非この機会に例会に遊びに来てください。そして我々と一緒に活動しませんか。

お問い合わせは大阪青年会議所事務局
社団法人 大阪府自動車整備振興会内 担当 宮城
TEL：06-6613-1191 (振興会 代表)
ホームページアドレス <http://daijisei.com/>

特別寄稿 その2**平成24年度 1年間を振り返って****平成24年度 会長 金岩政隆****金岩会長**

本年度は、スローガン「Shining Smile～心と絆」のテーマを掲げ、優しさや思いやりを持って人と人との絆の大切さを再確認し全メンバーが一丸となって試行錯誤しながらこの厳しい時代を乗り切り幸せになれる活動をしたいという思いからスタートをしました。

総務委員会、40周年準備委員会、IT戦術委員会の3つの委員会で1年間の活動を行っておりました。

1年間を振り返りますと総務委員会の家族例会で千早赤阪村でのマス釣り大会、季報の発刊や40周年準備委員会での40周年の準備や記念誌の作成、IT戦術委員会のフェイスブックの活用法などメンバーの協力なしでは行えない事業をたくさん経験しました。

そして近青協合同例会では滋賀県自動車青年会議所による大運動会に多くのメンバーと参加して日頃の活動とは異なり汗をかきながら真剣に走り転び応援をしたり近青協メンバー間の友情を確認致しました。

大自青に入会させていただき13年になりますが本当に今まで経験したことのない事や会長という立場から見えてくる物事がたくさんあり自分自身本当に勉強になりました。

メンバーのみなさんに是非、会長になるチャンスがあるのなら経験して頂きたいと心から思います。この1年で自分の小さな器が少し大きくなつたと実感できます。

これからは、後輩である中嶋会長を支えながら大自青のすばらしい仲間たちと友情を感じながら活動をしていきたいと思います。

最後になりますが、関係官庁、関係諸団体並びに諸先輩方にご指導頂きましたこと、会員諸兄の絶大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

カーライフ・エッセイスト吉田由美**「輸入車メーカーの勢い」**

アベノミクス効果で、2013年に入ってからというもの輸入車メーカーの勢いが止まらない！そういういたイメージの強い自動車業界です。1～3月までの3ヶ月だけでも国産車は新型モデルがわずか1車種なのに対し、輸入車は「メルセデスベンツAクラス」を皮切りに「MINIペースマン」、「フォード フォーカス」「プジョー5008」、「ボルボV40」と各メーカーのボリュームゾーンになりそうなコンパクトサイズのハッチバックスタイルタイプが多いのも大きな特徴。確かにどの車種もそれなりに好調。同時に、各国のモーターショーや自動車系イベントを見ても、どこも活気が戻って来た感もあります。年初の「東京オートサロン」も賑わいを見せ、「大阪オートメッセ」もますます。デトロイトショーにも行きましたが、「シボレー・コルベット」をはじめ、北米でも自動車業界の復活イメージが強くなっています。今月末には私はタイと韓国、アジア2か国のモーターショーに行きますが、現地の様子をたっぷり味わって来たいと思います。

残念ながら今回で私の連載は終わりますが、その話はまた何かの機会に出来ればと思います。1年間ありがとうございました。

